

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高1年 3名		インターネット教材（ワークシート）

年間目標			(知及技) 知識及び技能	社会生活に必要な国語の特質を理解し、適切に使うことができる。(高1段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高1段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高1段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	4	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとするができる。 【高1イ(ア)】 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとするができる。 【高1Aア】 (学・人) 高校生としての自覚を持ち、自己紹介しようとするができる。	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 高校生としての自覚を持って、自己紹介しようとしている。	・新しい仲間と学ぼう	・ワークシートを活用して、自分の漢字の読み書きの力を知る。 ・相手を見て自己紹介し合う。 ・みんなの前に立って自己紹介(発表)することに慣れる。	社会、職業 職業 職業
	5月	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことができる。【高1ウ(ウ)】 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを話し相手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとするができる。 【高1Aア】 (学・人) 話し相手を意識して丁寧な言葉遣いができる。	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことができる。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを話し相手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 話し相手を意識して丁寧な言葉遣いをしようとしている。	・校外実習に向けて ・図書館を利用しよう	・敬語の種類と用法を知る。 ・図書館オリエンテーション	社会、職業 社会、職業
	6月	8	(知及技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。【高1ア(ウ)】 (思判表力) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 【高1Cエ】 (学・人) 周りの出来事に興味関心を持ち、知ることができる。	(知・技) 漢字と仮名を用いた表記や送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打とうとしている。 (思・判・表) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約しようとしている。 (主学) 周りの出来事に興味関心を持ち、知ろうとしている。	・慰霊の日関連の新聞記事を読んでみよう ・新しい漢字を学ぼう	・物語や説明文の文章を漢字につまづくことなく、すらすらと音読する。 ・文章問題からの要点を読み取る。 ・新しい漢字の習得。 ・漢字テストの実施。	社会、職業
	7月	4	(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。【高1ウ(ア)(イ)】 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。 【高1Bア】 (学・人) 挨拶文の書き方を身に付けることができる。1学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出す。	(知・技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 挨拶文の書き方を身に付けようとしている。1学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出している。	・暑中見舞いを書こう ・学期のまとめ	・夏のお便りの書き方を知る。 ・暑中見舞いをポストに投函する。 ・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	社会、美術、職業
2 学期	9月	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。【高1ウ(ウ)】 (思判表力) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」を通して、「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解することができる。 【高1Aエ】 (学・人) 日常生活において、「しまくとうば」を知ることができる。	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。 (思・判・表) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」を通して、「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解しようとしている。 (主学) 日常生活において、「しまくとうば」を知ろうとしている。	・夏休みの宿題や思い出をまとめよう ・しまくとうば(黄金言葉)を学ぼう	・聞き手を意識して発表する。 ・夏休みの宿題の訂正と復習 ・しまくとうばで書かれた紙芝居を読む。(民話) ・「しまくとうば」とは何かを知る。	職業 社会
	10月	8	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。【高1ア(エ)】 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいこと、話の内容を捉えることができる。【高1Aア】 (学・人) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいこと、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 古文などを読んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。	美術
	11月	8	(知及技) 文字の組み立てを理解し、形を整えて書くことができる。【高1ウ(イ)⑦】 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。【高1Bア】 (学・人) きれいな文字を書くことを意識して、履歴書を仕上げることができる。 (知及技) 習字に親しみ、毛筆で丁寧に書くことができる。【高1ウ(イ)】	(知・技) 文字の組み立てを理解し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) きれいな文字を書くことを意識して、履歴書を仕上げようとしている。 (知・技) 字に親しみ、毛筆で丁寧に書こうとしている。	・履歴書を作成しよう ・毛筆に親しもう	・履歴書の様式や書き方を知る。 ・姿勢や用具の使い方を確認する。	社会、職業 美術

	12月	6	(知及技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書くことができる。〔高1ウ(イ)〕 (思判表力) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書くことができる。〔高1Bア〕 (思判表力) 季節の挨拶を知り、年賀状を書くことができる。〔高1Bア〕 (学・人) 1年を振り返り、年賀状を送る人を選択することができる。	(知・技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書くことができる。〔高1ウ(イ)〕 (思・判・表) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書くこととしている。 (思・判・表) 季節の挨拶を知り、年賀状を書くこととしている。 (主学) 1年を振り返り、年賀状を送る人を選択しようとしている。	・展示祭に向けて ・年賀状を書く	・字の形を整えて半切用紙に書く。 ・好きな言葉を探して、丁寧に毛筆で書く。	美術 美術、社会
	1月	4	(知及技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書くことができる。〔高1ウ(イ)〕 (思判表力) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書くことができる。〔高1Bア〕 (学・人) 毛筆を使用して、筆圧などに注意して書くことができる。	(知・技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書くこととしている。 (思・判・表) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書くこととしている。 (主学) 書き初めを書くとする。	・書き初めを書く	・書き始めから書き終わりまでを、無理なくつないで書くことができるようにする。	職業
3学期	2月	8	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。〔高1ア(キ)〕 (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。〔高1Cア〕 (学・人) 物語を読んで、自分の感想を発表することができる。	(知・技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読しようとしている。 (思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学) 物語を読んで、自分の感想を発表しようとしている。	・文章に親しむ ・文章を読んで感想を発表しよう	・物語を読んで、感想を自分の言葉で文章にして書くこと、発表することができるようにする。	職業
	3月	4	(知及技) 日頃の感謝を込めて、日常的に使われる敬語を理解してメッセージを書くことができる。〔高1ア(カ)〕 (思判表力) 感謝の気持ちを込めて、伝えたいことを明確にすることができる。〔高1Aア〕 (学・人) 先輩や先生に感謝の気持ちを伝えることができる。	(知・技) 日頃の感謝を込めて、日常的に使われる敬語を理解してメッセージを書くこととしている。 (思・判・表) 感謝の気持ちを込めて、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 先輩や先生に感謝の気持ちを伝えようとしている。	・先輩と先生へのメッセージを書く	・先輩と先生にメッセージを送る。	社会
留意点 引継等							
評価方法			・三観点の確認 ・授業(実技、実習を含む)に対する取組姿勢 ・漢字などのテスト等				

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高2年 2名		ワークシート

年間目標			(知及技) 知識及び技能	社会生活に必要な国語の特質を理解し、適切に使うことができる。(高Ⅰ段階)			
			(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。(高Ⅰ段階)			
			(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさを認識するとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。(高Ⅰ段階)			
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学 期	4月	4	(知及技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようにすることができる。〔高Ⅰイ(ア)〕 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとする。〔高Ⅰア(ア)〕 (学・人) 高校生としての自覚を持ち、自己紹介しようにすることができる。	(知・技) 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など、情報と情報との関係について理解しようにしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 高校生としての自覚を持って、自己紹介をしようとしている。	・新しい仲間と学ぼう	・ワークシートを活用して、自分の漢字の読み書きの力を知る。 ・相手を見て自己紹介し合う。 ・みんなの前に立って自己紹介(発表)することに慣れる。	社会、職業 職業 職業
	5月	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。〔高Ⅰウ(ウ)〕 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとする。〔高Ⅰア(ア)〕 (学・人) 話し相手を意識して丁寧な言葉遣いができる。	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書に必要な知識や情報を得ることに役立てようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを話し手が伝えたいことの中心に注意して聞き、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 話し相手を意識して丁寧な言葉遣いをしようとしている。	・校外実習に向けて ・図書館を利用しよう	・敬語の種類と用法を知る。 ・図書館オリエンテーション	社会、職業 社会、職業
	6月	8	(知及技) 漢字と仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打つことができる。〔高Ⅰア(ウ)〕 (思判表力) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。〔高ⅠCエ〕 (学・人) 周りの出来事に興味関心を持ち、知ることができる。	(知・技) 漢字と仮名の付け方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点の使い方を意識して打とうとしている。 (思・判・表) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約しようとしている。 (主学) 周りの出来事に興味関心を持ち、知ろうとしている。	・慰霊の日関連の新聞記事を読んでみよう ・新しい漢字を学ぼう	・身近な記事の要点を読み取る ・新しい漢字の練習とテストの実施	社会、職業
	7月	4	(知及技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使うことができる。〔高Ⅰウ(ア)(イ)〕 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にすることができる。〔高ⅠBア〕 (学・人) 挨拶文の書き方を身に付けることができる。Ⅰ学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出す。	(知・技) 生活に身近なことわざや慣用句などを知り、使おうとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 挨拶文の書き方を身に付けようとしている。Ⅰ学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出している。	・暑中見舞いを書こう ・学期のまとめ	・夏のお便りの書き方を知る。 ・暑中見舞いをポストに投函する。 ・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	社会、美術、職業
	9月	8	(知及技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。〔高Ⅰウ(ウ)〕 (思判表力) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」を通して、「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解することができる。〔高ⅠAエ〕 (学・人) 日常生活において、「しまくとうば」を知ることができる。	(知・技) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立てようとしている。 (思・判・表) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」を通して、「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解しようとしている。 (主学) 日常生活において、「しまくとうば」を知ろうとしている。	・夏休みの宿題や思い出をまとめよう ・しまくとうば(黄金言葉)を学ぼう	・聞き手を意識して発表する ・夏休みの宿題の訂正と復習 ・しまくとうばで書かれた紙芝居を読む。(民話) ・「しまくとうば」とは何かを知る。	職業 社会

2 学 期	10月	8	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。〔高1ア(エ)〕 (思判表力) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいこと、話の内容を捉えることができる。〔高1Aア〕 (学・人) 古文などを读んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、言葉には、性質や役割による語句のまとまりがあることを理解しようとしている。 (思・判・表) 社会の中で関わる人の話などを、話し手が伝えたいこと、話の内容を捉えようとしている。 (主学) 古文などを读んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。	美術
	11月	8	(知及技) 文字の組み立てを理解し、形を整えて書くことができる。〔高1ウ(イ)㉞〕 (思判表力) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するのなど、伝えたいことを明確にすることができる。〔高1Bア〕 (学・人) きれいな文字を書くことを意識して、履歴書を仕上げるすることができる。 (知及技) 習字に親しみ、毛筆で丁寧に書くことができる。〔高1ウ(イ)〕	(知・技) 文字の組み立てを理解し、形を整えて書こうとしている。 (思・判・表) 相手や目的を意識して、書くことを決め、集めた材料を比較するのなど、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) きれいな文字を書くことを意識して、履歴書を仕上げるようとしている。 (知・技) 字に親しみ、毛筆で丁寧に書こうとしている。	・履歴書を作成しよう ・毛筆に親しもう	・履歴書の様式や書き方を知る。 ・姿勢や用具の使い方を確認する。	社会、職業 美術
	12月	6	(知及技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書くことができる。〔高1ウ(イ)〕 (思判表力) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書くことができる。〔高1Bア〕 (思判表力) 季節の挨拶を知り、年賀状を書くことができる。〔高1Bア〕 (学・人) 1年を振り返り、年賀状を送る人を選択することができる。	(知・技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書こうとしている。 (思・判・表) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書こうとしている。 (思・判・表) 季節の挨拶を知り、年賀状を書こうとしている。 (主学) 1年を振り返り、年賀状を送る人を選択しようとしている。	・展示祭に向けて ・年賀状を書こう	・字の形を整えて半切用紙に書く。 ・好きな言葉を探して、丁寧に毛筆で書く。 ・年賀状の作成。	美術 美術、社会
3 学 期	1月	4	(知及技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書くことができる。〔高1ウ(イ)〕 (思判表力) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書くことができる。〔高1Bア〕 (学・人) 毛筆を使用して、筆圧などに注意して書くことができる。	(知・技) 用紙全体の大きさを意識し、文字の組み立て方を理解しながら、バランスよく文字を書こうとしている。 (思・判・表) 書く題材を決め、毛筆で丁寧に書こうとしている。 (主学) 書き初めを書こうとする。	・書き初めを書こう	・書き始めから書き終わりまでを、無理なくつないで書くことができるようにする。	職業
	2月	8	(知及技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。〔高1ア(キ)〕 (思判表力) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えることができる。〔高1Cア〕 (学・人) 物語を読んで、自分の感想を発表することができる。	(知・技) 文章の構成や内容の大体を意識しながら音読しようとしている。 (思・判・表) 登場人物の行動や心情などについて、叙述を基に捉えようとしている。 (主学) 物語を読んで、自分の感想を発表しようとしている。	・文章に親しむ ・文章を読んで感想を発表しよう	・物語を読んで、感想を自分の言葉で文章にして書くこと、発表することができるようにする。	職業
	3月	4	(知及技) 日頃の感謝を込めて、日常的に使われる敬語を理解してメッセージを書くことができる。〔高1ア(カ)〕 (思判表力) 感謝の気持ちを込めて、伝えたいことを明確にすることができる。〔高1Aア〕 (学・人) 先輩や先生に感謝の気持ちを伝えることができる。	(知・技) 日頃の感謝を込めて、日常的に使われる敬語を理解してメッセージを書こうとしている。 (思・判・表) 感謝の気持ちを込めて、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 先輩や先生に感謝の気持ちを伝えようとしている。	・先輩と先生へのメッセージを書こう	・先輩と先生にメッセージを送る。	社会
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢					

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
2／70	高3年 1名		ワークシート

		(知及技) 知識及び技能	社会生活に必要な国語の特質を理解し、適切に使うことができるようにする。(高2段階)				
年間目標		(思弁表力) 思考力、判断力、表現力等	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。(高2段階)				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性	言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にしてその能力の向上を図る態度を養う。(高2段階)				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
Ⅰ 学期	4月	5	(知及技) 学校・日常生活で文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて、「自立」の上で必要と思われる漢字を書くことができる。〔高2ア(ウ)〕 (思弁表力) 社会に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。〔高2ア(ア)〕 (学・人) 高校生としての自覚を持ち、自己紹介しようとすることができる。	(知・技) 学校・日常生活で文や文章の中で漢字と仮名を使い分けて、「自立」の上で必要と思われる漢字を書こうとしている。 (思・判・表) 社会に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこうとしている。 (主学) 高校生としての自覚を持ち、自己紹介しようとしている。	・新しい仲間と学ぼう	・ワークシートを活用して、自分の漢字の読み書きの力を知る。 ・相手を見て自己紹介し合う。 ・みんなの前に立って自己紹介(発表)することに慣れる。	社会、家庭科、職業
	5月	8	(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。〔高2ウ(エ)〕 (思弁表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えることができる。〔高2Aア〕 (学・人) 話し相手を意識して丁寧な言葉遣いができる。	(知・技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこうとしている。 (思弁表力) 社会の中で関わる人の話などについて、話し手の目的や自分が聞きたいことの中心を捉え、その内容を捉えようとしている。 (学・人) 話し相手を意識して丁寧な言葉遣いをしようとしている。	・校外実習に向けて ・図書館を利用しよう	・敬語の種類と用法を知る。 ・図書館オリエンテーション	社会、職業
	6月	8	(知及技) 文章を音読したり、朗読したりすることができる。〔高2ア(キ)〕 (思弁表力) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けことができる。〔高2Cエ〕 (学・人) 周りの出来事に興味関心を持ち、知ることができる。	(知・技) 文章を音読したり、朗読しようとしている。 (思・判・表) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けようとしている。 (主学) 周りの出来事に興味関心を持ち、知ろうとしている。	・慰霊の日関連の新聞記事を読んでみよう ・新しい漢字を学ぼう	・身近な記事の要点を読み取る ・新しい漢字の練習とテストの実施	社会、職業
	7月	5	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。〔高2ウ(ウ)ア〕 (思弁表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。〔高2Bア〕 (学・人) 挨拶文の書き方を身に付けることができる。Ⅰ学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出す。	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書こうとしている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 挨拶文の書き方を身に付けようとしている。Ⅰ学期の学習を振り返り、2学期への課題を見出そうとしている。	・暑中見舞いを書こう ・学期のまとめ	・夏のお便りの書き方を知る。 ・暑中見舞いをポストに投函する。 ・夏テスト等で学習の定着を確認し、次の目標を立てる。	社会、美術、職業
	9月	8	(知及技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。〔高2ウ(エ)〕 (思弁表力) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」や資料活用するなどして、「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解することができる。〔高2Aエ〕 (学・人) 日常生活において、「しまくとうば」を知ることができる。	(知・技) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くこうとしている。 (思・判・表) 日常生活で聞いたことのある「しまくとうば」や資料活用するなどして、「しまくとうば」の良さを知り、郷土の言語文化を理解しようとしている。 (学・人) 日常生活において、「しまくとうば」を知ろうとしている。	・夏休みの宿題や思い出をまとめよう ・しまくとうば(黄金言葉)を学ぼう	・聞き手を意識して発表する ・夏休みの宿題の訂正と復習 ・しまくとうばで書かれた紙芝居を読む。 (民話) ・「しまくとうば」とは何かを知る。	社会、職業

2 学 期	10月	8	(知及技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。〔高2ア(エ)〕 (思判表力) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。〔高2Cア〕 (学・人) 古文などを读んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しむことができる。	(知・技) 表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしようとしている。 (思・判・表) 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えようとしている。 (主学) 古文などを读んだり、かるた取りをしたりして様々な日本語の表現を知り、親しんでいる。	・古文に親しむ	・古文を読んだり、暗唱したりする。	美術
	11月	8	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。〔高2ウ(ウ)ア〕 (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。〔高2Bア〕 (学・人) きれいな文字を書くことを意識して、履歴書を仕上げることができる。	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書こうとしている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) きれいな文字を書くことを意識して、履歴書を仕上げようとしている。	・履歴書を作成しよう	・履歴書の様式や書き方を知る。 ・他の人も読めるようなきれいな字を書くことを意識する	社会、職業
	12月	7	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。〔高2ウ(ウ)ア〕 (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。〔高2Bア〕 (学・人) 1年を振り返り、年賀状を送る人を選択することができる。	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書こうとしている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 1年を振り返り、年賀状を送る人を選択しようとしている。	・展示祭に向けて ・年賀状を書こう	・字の形を整えて半切用紙に書く。 ・好きな言葉を探して、丁寧に毛筆で書く。 ・年賀状の作成。	美術、社会
3 学 期	1月	5	(知及技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書くことができる。〔高2ウ(ウ)ア〕 (思判表力) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。〔高2Bア〕 (学・人) 毛筆を使用して、筆圧などに注意して書くことができる。	(知・技) 用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列などを決めて書こうとしている。 (思・判・表) 目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。 (主学) 書き初めを書こうとする。	・書き初めを書こう	・書き始めから書き終わりまでを、無理なくつないで書くことができるようにする。	職業
	2月	8	(知及技) 漢字に引っかけからず、文章を音読したり、朗読したりすることができる。〔高2ア(キ)〕 (思判表力) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けることができる。〔高2Cエ〕 (学・人) 物語を読んで、自分の感想を発表することができる。	(知・技) 漢字に引っかけからず、文章を音読したり、朗読しようとしている。 (思・判・表) 目的を意識して、文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けようとしている。 (主学) 物語を読んで、自分の感想を発表しようとしている。	・文章に親しむ ・文章を読んで感想を発表しよう	・物語を読んで、感想を自分の言葉で文章にして書くこと、発表することができるようにする。	職業
	3月	4	(知及技) 日常よく使われる敬語を理解し、メッセージ中で使い慣れることができる。〔高2ア(カ)〕 (思判表力) メッセージの内容が明確になるように、話の構成を考えることができる。〔高2Aウ〕 (学・人) 後輩や先生に感謝の気持ちを伝えることができる。	(知・技) 日常よく使われる敬語を理解し、メッセージ中で使い慣れようとしている。 (思・判・表) メッセージの内容が明確になるように、話の構成を考えようとしている。 (主学) 後輩や先生に感謝の気持ちを伝えようとしている。	・後輩と先生へのメッセージを書こう	・後輩と先生にメッセージを送る。	社会
留意点 引継等							
評価方法		・三観点の確認 ・提出物の状況 ・授業（実技、実習を含む）に対する取組姿勢 ・単元テスト ・小テスト ・課題の処理意欲、態度 ・理解度、習得度					